

課題名 胆嚢結石合併総胆管結石症に対する胆嚢摘出術の必要性の検討

当院の研究責任者 (所属)	鈴木 慶一 (外科部長)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当せず
本研究の目的	胆嚢結石症を合併した総胆管結石症例に対する治療戦略として、ERCP切石後の総胆管結石症例再発のリスク因子の評価と、切石後に胆嚢摘出術を付加すべきかを検討する。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間：許可されてから2024年3月31日まで 研究対象期間：2018年4月1日から2022年12月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象患者 上記期間内に栃木医療センターで総胆管結石の治療を受けた患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供	該当せず
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 栃木医療センター 担当者：鈴木 慶一